

建設分野の新技术・新工法の報告会 令和5年度「建設技術報告会」を開催しました ～21課題をオンデマンド配信～

令和5年度「建設技術報告会」実行委員会

1. 開催概要

令和5年度「建設技術報告会」実行委員会（北陸地方建設事業推進協議会の官公庁及び民間団体等23機関で構成）は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技术、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図ることを目的に毎年開催しています。令和5年度「建設技術報告会」は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）防止対策が緩和されましたが、DX及び働き方改革推進の観点から、昨年度に引き続きオンデマンド配信にて、令和6年1月10日から1月31日（22日間）にかけて開催しました。

本報告会は、21技術の課題を建設技術報告会ホームページに論文を掲載し、オンデマンド配信（総再生時間262分）にて報告を行いました。

昨年度を上回る882名の方に全国から聴講頂き、CPD（133名）及びCPDS（594名）の受講証明書を発行しました。

●前回（昨年度）からの変更点

昨年度の意見を踏まえ変更した主な項目は、以下のとおり。

	【前回】	【今回】
・開催期間拡大	14日間（土日を含む）	→ 22日間（土日を含む）
・会期後の視聴	機能なし	→ 視聴ID登録者に限り、会期後一定期間視聴 (1ヶ月間、2月29日まで)

※多数の聴講者の参加により、当報告会の目的である新技术の活用・普及に向けて大変有意義な報告会となりました。多数の聴講ありがとうございました。

2. 次回開催に向けて

●本年度聴講者からの意見

◇主な意見

- ・参考になった
- ・オンデマンド配信の自由度を評価する
- ・継続を希望する・また受講したい
- ・再視聴期間延長を評価する

◇次回に向けて参考となる個別意見

- ・視聴期間が長く、業務の合間に少しずつ視聴できる点でも、働き方に合わせて参加しやすい。
- ・繁忙期であったが、無理なく視聴することができた。
- ・1項目ごとの視聴時間が短時間に纏められており、長時間の拘束もなく手空き時間に受講できることで時間の有効利用が可能でありがたい。
- ・今後もオンデマンド方式の配信を続けて欲しい。
- ・新技术、新工法の現場でも活用報告（課題、工夫、効果）などの報告を多く取り入れていただきたい。
- ・新設からリニューアルへと移りゆく中、リニューアル耐久性向上に関しても今後報告会で視聴したい。
- ・視聴期間を1月6日からにしてもらえるとありがたかった。
- ・震災があり視聴できない日が続いた。20日と期間を長くされていたが、30日程度あれば良かった。
- ・このような報告会が以前から合ったことを知らなかった。今後、広告を早めにしていただきたい。

●次回開催までの検討項目

- ・開催期間の延長
- ・会期後の視聴期間
- ・広報の方法

●オンデマンド配信による課題報告一覧

テーマ	報告技術名	発表者	所属
①	ダムコンクリートの高速運搬技術「SCプレミアムベルコン」	山下 哲一	清水建設株式会社
①	ダム工事を一元管理するダム統括管理システムの開発	杉野 裕之	前田建設工業株式会社
①	新潟空港の埋立護岸空洞化要因の特定手法について	東宮 真琴	国土交通省北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所
①	山岳トンネルの鏡吹付け管理システムの開発	宮嶋 保幸	鹿島建設株式会社
①	橋梁リニューアル統合管理システム「OBRIS」の開発	日暮 一正	株式会社大林組
①	法面工を対象とした、モバイル端末による高精度3D地上写真測量の試行	太刀川 翼	株式会社興和
①	土質定数推定システム「サウンディングAI」	秋本 哲平	五洋建設株式会社
①	音響カメラ搭載型ROV	安藤 恭平	株式会社本間組
②	コンクリート床版用橋面舗装の端部防水工法	渡辺 直利	福田道路株式会社
②	「塩分吸着剤」を添加した交換可能な成型パネルの接合による塩害抑止工法の開発	井貝 武史	株式会社福田組
②	防水および塩分吸着性能を兼ね備えた薄層表面処理工法『CAMシールNEOプラス』	園田 涼	東亜道路工業株式会社
②	積雪寒冷地に対応したひび割れ抑制舗装技術	畑山 良二	福田道路株式会社
②	大深度消雪井戸における、VP管による二重ケーシング施工のためのソケット開発	坂井 祐史	株式会社興和
②	改築推進であるベルリプレイス工法を用いた水道管(ダクタイル鋳鉄管)への適用	上田 信二	真柄建設株式会社
③	スタック車両における『緊急脱出用具』の試行導入に向けた、フィールド試験結果の報告	後藤 大地	国土交通省 北陸地方整備局 北陸雪害対策技術センター
③	凍結抑制型音響道路-メロディザベックについて-	柳沼 伶奈	世紀東急工業株式会社
④	両津港の定期航路安定を目指した耐震改良設計	八木 一樹	国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所
⑤	散布型路上表層再生工法『エリクサーシール』	深谷 美優	東亜道路工業株式会社
⑤	CO ₂ 固定型コンクリートの消波ブロック適用に向けた検討	昇 悟志	株式会社不動テトラ
⑥	自己充填覆工構築システムの開発	弘光 太郎	佐藤工業株式会社
⑥	石川県における建設業の働き方改革の推進について ～いしかわ週休2日工事・ICTの活用等～	濱野 仁樹	石川県

以下の6テーマに関して、21課題の報告を行いました。

①i-Constructionによる生産性向上、インフラ分野のDX(8課題) ②社会資本の的確な維持管理・更新(5課題)
③雪に強い地域づくり(6課題) ④自然災害からの安全確保(0課題) ⑤環境の保全と創造(3課題) ⑥その他(2課題)

令和5年度「建設技術報告会」の報告論文は、建設技術報告会ホームページよりダウンロードできますので、下記URLよりご覧いただければ幸いです。

URL : <https://www.kensetsu-houkokukai.info/archive/index.html>

北陸地方建設事業推進協議会 令和5年度「建設技術報告会」実行委員会構成機関

北陸地方整備局／新潟県／富山県／石川県／新潟市

東日本高速道路(株)新潟支社／中日本高速道路(株)金沢支社

(一社)日本建設業連合会北陸支部／(一社)日本道路建設業協会北陸支部

(一社)新潟県建設業協会／(一社)富山県建設業協会／(一社)石川県建設業協会

(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部／(一社)日本建設機械施工協会北陸支部

(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会／(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部

北陸PC防雪技術協会／(一社)新潟県融雪技術協会／(一財)新潟県建設技術センター／

北陸地質調査業協会／（一社）日本埋立浚渫協会北陸支部／（一社）北陸地域づくり協会
（一社）日本橋梁建設協会北陸事務所